

JA いしかり

謹賀新年

とねのさと



表紙：新居 久美子 女性部長(左)・中村 武史 組合長(中央)・熊倉 聡 青年部長(右) (関連記事4-5ページ)

新年明けましておめでとうございます



石狩市農業協同組合
代表理事組合長 中村 武史

明けましておめでとうございます。

一昨年に続き、昨年も世界的なコロナ禍において、組合員の皆様におかれましては、日頃の営農は元より、日常生活においても気苦労の多い日々を過ごされていることと存じます。新たな変異株も出現し、本年もまたコロナ禍での日常を送らなくてはならないのかと思いますが、国民の食糧を担う農業者としての使命

を果たせるよう、本年も組合員皆様と力を合わせて参りたいと存じます。

さて、昨年の石狩農業は6月から8月にかけての干ばつと北海道とは思えぬ高温が農作物の生育に大変な影響を及ぼし、水稲は道内の作況指数が108と豊作となりましたが、畑作物や野菜は生育不良による大幅な収量減となり販売計画も残念ながら達成が難しい見込みとなっております。

一方でこれのさとは昨年引き続き販売額が4億円に達する勢いとなっており、石狩産米の販売も順調に伸びしております。農協全般では、組合員皆様のご協力のおかげで信用共済事業、経済事業もほぼ計画を達成する見込みとなっております。改めて感謝申し上げます。

また、昨年は初めての試みとして職員による組合員全戸訪問に取り組みました。これは、新型コロナウイルス感染症予防等で会合や対話の機会が減ったことから、組合員と職員との相互理解を深めながら、組合員皆様の営農面や生活面での悩みや課題解決の一助となれるきっかけとなるよう企画させていただきました。12月にも2回目を実施しましたが、皆様からいただいたご意見・ご要望にしっかりと対応し、こうした機会を通じて少しでも相互理解が深まることを期待しております。引き

続き、新年度以降も実施してまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

また、昨年の秋の農事組合長会議とその後の地区別懇談会において、初めて組合員皆様に説明させていただきました札幌市農協との合併に向けた協議でありましたが、組合員経済と営農を10年後、20年後もしっかりと守り、支援していくための最善の選択と考えての方向性ですので、ご理解をいただけるようお願い申し上げます。

本年は第7期地域農業振興計画及び第7次中期経営計画の2年目であります。昨年の検証を踏まえながら、本年も組合員経済の向上と安定に寄与できるよう役員全員で取り組んでまいります。一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願うと共に、組合員皆様のご健勝で豊穡の秋を迎えられることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和4年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊幸

新年明けましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月、8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によっては、生育が大変、心配されたものの、おおむね平年作を確保することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今ま

での日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国にも影響があり、農作業の人材確保にも大きな課題となっておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJA北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAグループ北海道を取り巻

く環境が急激に変化しており、このような環境に適応していくには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返すことで、変化の波をJA運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役員が一丸となつてしっかりと取り組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持っており、生命の誕生を宿す意味を表します。一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



新春への夢を語る

特別対談企画



熊倉聡青年部長

中村武史組合長

新居久美子女性部長

中村組合長 本日は広報誌1月号の特別対談企画「新春への夢を語る」ということでご案内させていただきます。コロナ禍で制約の多い状況ですが、これからの希望・夢など、当JAの未来についてお話しできればと思います。令和3年を振り返ってできたこと・できなかったことをお聞かせいただけますか？

新居女性部長 女性部はできないことが多かったですが、6月にリモートで落語を聞かせていただきました。12月には、身体のケアを目的に八幡コミセンでイベントを行う予定ですが、会食等は一切できないため、部員同士の交流があまり無い状態です。

熊倉青年部長 青年部も活動ができなかったため、スマート農業の実演会を2回、春と秋に実施しました。来年度はGPSモニターの購入を検討しています。

中村組合長 これからの農業は機械化・AI化にどんどん取り組んでいかないとけませんね。日本全国で実施されている優良事例を女性部・青年部のネットワークを使って部員に周知してもらえればと思います。

地区の活動について

中村組合長 それぞれの地区の地域性・特色があると思いますが、地区毎にいろいろな取り組みをされていますよね。

新居女性部長 美登位地区の女性部は冬期間、週に1回、ミニバレーを行っていました。コロナの影響で2年ほどできていません。公民館の下の花壇は、女性部が伝

仕方が変わりましたね。更に機械化を進めることで作業は楽になり、収入も増え、儲かっている姿を次の世代の子どもたちに見せることができれば、農家を継いでくれる若者が増えると思います。やっぱり、農業は楽しく儲からないと誰もやりたがらないでしょうし、時間を上手く使って人生を楽しむ心のゆとりがほしいと思います。

中村組合長 そういう取り組みは大事だと思います。忙しいという字は、心を亡くすと書きますね。忙しいことばかりだと何のために農業をやっているのかわからなくなってしまう時があるので、心にゆとりを持った仕事をしていかなければ後が続かないと思います。

合併について

中村組合長 現在、当JAはJAさつぼろとの「合併」を大きなテーマとして進めています。当JA



熊倉青年部長 青年部に限らず若い人たちが交流できる場があったら良いと思います。今は部員が少ないので、少しでも部員を増やして活動を活発にしたいですね。

中村組合長 若い人同士で「俺は機械化して規模拡大するんだ」とか「俺はこういう新たな作物に挑

はまだまだ勢いもあるし、若い人たちも頑張っているんで、元気があるうちに将来を見据えた選択です。また、JAさつぼろからは、当JAは組合員のJA利用が非常に高く、JAと組合員のまとまりを高く評価していただいております。合併を起爆剤に農業部門を伸ばしたいと考えています。お互いの長所を活かして協同組合の理想を追い求めていきたいと考えています。まだ不安なことが多いと思いますが、合併した場合、青年部・女性部それぞれの活動についてイメージしているものはありますか？

新居女性部長 女性部は現在26名の部員で活動していますが、その中から部長を選ぶということがすごく負担になっています。女性部員が少ないのは、どのJAでも課題になっていていますが、合併することで少しでも負担が減り、事業が活性化すれば良いと思います。また、当JAの女性部でやってきた事業は支部としてそのまま継続していきたいと思っています。



戦するんだ」とか将来の夢を語る場があって良いと思うんですよ。人との繋がりが希薄化している現代社会こそ、語り合うことはとても大事なことだと思います。先代が苦労して自分たちに繋いでくれた、そういう苦労の受け止め方ひとつで考え方は変わると思います。経営者として、自分の農業経営を今後どうしていくか考える年代でもありますので、将来の夢を思い描く大事な1年にしてほしいと思います。

最後に

中村組合長 令和4年はどんな活動をしたいかと考えていますか。

新居女性部長 みんなが集まって交流できる年になれば一番良いで

統的にすべて管理しています。前を通る方に「いつも綺麗だね」と言われると嬉しいですね。

熊倉青年部長 地区制を廃止し、数年前まではOBにも声をかけ焼き肉を行っていましたが、人が少なくなり現在は行うことができませんになりました。それ以来集まる機会がなかなかないですね。

農業について

中村組合長 将来農業はどうしていいかと考えていますか？

熊倉青年部長 面積を増やすためには機械化しかないと思います。昔は手作業で、大変な思いをして辛い仕事もやっていました。現在は機械化が進み面積もこなせるようになって昔とはかなり作業の



すが、コロナ禍でもみんなが楽しめることができた良いなと思っています。役員会ではWebで何かできないかと常に話し合っていますし、少しでも活動していければと思っています。

熊倉青年部長 ここ最近では青年部での集まりが少ないので、だからこそ楽しめる機会を作っていきたいと思っています。

中村組合長 楽しみながら学ぶことが大事なことですよ。『楽しい農業』をキーワードにぜひ楽しく儲かる農業を目指して令和4年も共に頑張っていきましょう。



【11月4日】地物市場とれのさと 見学の様子

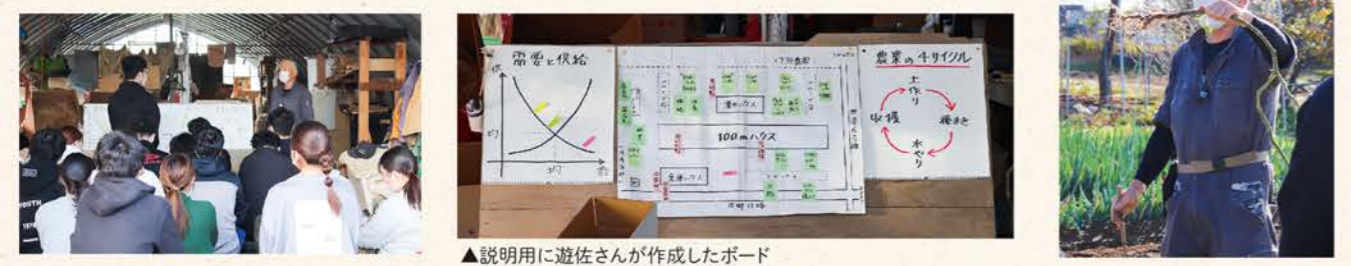


北海学園大生が 石狩市農業に触れる



写真：宮入隆教授(右端)と宮入ゼミの皆さん、遊佐さん(前列左から6人目)

【11月5日】ユウサン・ファームでの農業体験の様子



▲説明用に遊佐さんが作成したボード

学生達の声

農業体験をさせていただき、農家になったみたいで新鮮でした。
 スーパーで売っている感覚で値札を付けたら、安くて赤字かな。
 大変な思いをして作った作物がこの価格だと...どうだろう。
 貴重な体験をさせてもらい、経済学も教えていただき学びになりました。今後将来に活かしていきたいです。



ミニトマトの茎の長さ(3m越え)を測る学生



遊佐さんから味見してOKとの声掛けにミニトマトの甘さを確認

11月4日〜5日、学生地域研修活動として、北海学園大学地域経済学科学生22名が石狩市を訪れました。学科創設時から将来の地域の担い手を育てるための実践型授業として「地域研修」を科目に取り入れ、今回引率の宮入教授のゼミでは、石狩を対象に「都市近郊農業の存立条件と課題」をテーマに研究しています。初日は、当JA本店で座学を行い、「石狩市農業の特徴と役割」について学び、続いて地物市場とれのさとに場所を移し、「農協直売所の運営実態と課題」について学び、店内を見学して肌で運営実態に触れつつ、JA事業への理解を深めていきました。

また、学生達はゼミ活動の一環として、今回の地域研修を目指して北海道農業及び石狩農業について事前学習もしており、主要品目の道内・道外への出荷割合や、新規就農支援、雇用労働力確保などの営農支援、特産品の開発や新規作物導入など積極的に質問する姿が見られました。

2日目は、花畔地区の「ユウサン・ファーム」で遊佐宏文さんから丁寧な説明を受け、新規就農までの経緯や経営学としての農業、冬期も収穫するためのハウスの土地改良等を学び、ハウス内を見学しました。続いて、ジャガイモを収穫し、出荷するようキレイに土を取り袋詰めして重さを量り、各自が売りたい値段を付ける体験を通して農業の大変さを感じていました。

その後、市役所農政課でも研修を行い、石狩を後にしました。

学生達の中には、将来、農協をはじめJAグループへの就職を希望している学生もおり、今後も農協・農業への理解を深めてもらいたいと感じました。

【記事担当…佐久間(祥)】

【11月4日】当JA本店での座学の様子



収穫から販売までの一連の流れで仮想の生産者体験をすることで、何か感じてもらえればと考えました。農業は天候や政策など諸条件が苦しんでいますが、今回体験した皆さんの中にも自ら農業をやりたいという人や行政や農協などに勤める人がいるかもしれないが、色々な立場で日本の農業を側面から支える仕事をしてもらえたら嬉しいです。是非、今回の体験を将来に役立ててください。

遊佐さんより



▲終了後も熱心に質問をする様子

▶▶ 愛媛県 JAにしようわ

他地域との連携を既に実施中の愛媛県八幡浜市にある西宇和農業協同組合では、農業労働力の産地間連携（農業労働力確保産地間連携協議会）の取り組みについてお聞きました。新規募集やリポーターの増加・紹介では限界があり、農作業経験者を効率良く確保する方法を模索していた際に、従来より交流があったJAふらの（4月～10月）・JAおきなわ（1月～3月）の2JAと繁忙期が重ならないことから産地間の人材交流を始めたそうです。また、閉校した小学校を転用しアルバイト用の宿泊施設を稼働したことで年々利用者が増え、農繁期の労働力不足を解消しています。



愛媛県八幡浜市



JAの主な取組

- ◆みかんアルバイト事業
- ◆お手伝いプロジェクト
- ◆研修生受入事業
- ◆農業労働力確保産地間連携協議会
- ◆農作業支援員の雇用
- ◆県内大学等との連携
- ※7JA等で産地間協力体制を拡大中。

地域の現状

愛媛県最西端にある佐田岬半島を要する伊方町・八幡浜市・西予市三瓶町2市1町からなる西宇和地域で構成され、柑橘生産が盛んで愛媛県内の温州みかんの半数以上を生産している。しかし、令和2年度の出荷農家戸数は前年に比べて108戸減少しており、新規就農や親元就農の促進等により、担い手の確保が急務となっている。

今後の展望

各JAが持つ援農者情報の共有やSNS等を通じた求人情報の発信により、将来的には援農希望者の選択肢を増やすためにも趣旨に賛同するJA等の加入を増やしていきたい。

▶▶ 高知県 東洋町

高知県東洋町にある高知県農業協同組合では、労働力確保対策についてお聞きしました。まだ高知県では前例がないようで、市とJAが連携していることに深く関心を持たれ、今後取り組んでいきたいとのことでした。またポンカンを生産しているフクチャンファーム代表者の山下龍造さんは「アグリケーション事業のような労働力確保対策をまず自分のところで東洋町役場と一緒にやっていきたい」と強い決意を語られていました。この訪問をきっかけに、令和4年1月から人材融通第1号として今年度のアグリケーション参加者（スマートタイプ・藤岡浩晃さん受入）の勝川東さんを石狩市から派遣し、ポンカン収穫・選別作業に従事することになりました。



フクチャンファーム
代表
山下 龍造さん



フクチャンファームの主な取組

- ◆宿泊施設を3棟取得
- ◆収穫作業等で宿泊施設滞在者への利用料補助
- ◆国・高知県のふるさとワーホリサイト

地域の現状

ポンカン収穫は4mのはしごを使った収穫作業や、急勾配の激しい地域への通勤等から年々雇用労働者の確保が難しくなっている。また、雇用労働者の高齢化と地域人口の減少に伴い、家族で作業できる作物へ転換されているため、町としても人材不足解消は急務である。

今後の展望

アグリケーション参加者・グリーンサポーターから希望者を募り、12月～1月頃、フクチャンファーム所有の宿泊施設を滞在先として期間雇用し、いずれは東洋町全体で人材融通事業を発展させたい。

まとめ

高齢化や、新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し人材が集まりにくい現状は、各産地の共通課題であることを再認識しました。コロナ禍にもかかわらず、各県の方々に親切に対応していただいたおかげで貴重な意見交換と次年度に向けた要望をいただくことができました。今後の展望として、第1号派遣先のフクチャンファームさんと人材融通を行う中で課題を精査し検証を続けつつ、他産地へも人材を派遣し、互いの課題解決へ繋がるように石狩市と連携して事業を展開させたいと考えます。

【記事担当：梶（亮）】



農業人材確保 産地間での連携へ!!

道外視察レポート



当JAでは、令和2年度より石狩市との連携事業「石狩アグリケーション」に取り組んでおり、新たに、継続的に地域農業を支えてくれる人材確保を目指した事業「アグリブリッジ（仮称）」の実施に向けて10月21日～23日、四国3県で行われている産地間連携による農業人材確保に係る取り組みを視察し、情報交換を行ってきました。

産地間の人材融通プラン「アグリブリッジ（仮称）」とは

市と当JAで構想を練っている事業で、石狩農業の農閑期の作業がない時期（11～5月）に他産地へ農業人材を融通することで、継続的に地域農業を支えてくれる人材確保を目指したものです。「石狩アグリケーション」参加者の中から他産地での農作業従事を希望する方にリレー方式で産地を渡り歩いてもらい、「旅するノーカー」を産地連携により確保・育成しようというものです。一定程度の農作業経験者や継続的に農業を支えてくれる人材確保、旅するノーカーを通じた他産地間の交流などのメリットが考えられます。

農閑期に農業人材を融通



▶▶ 香川県 東かがわ市

香川県の東かがわ市役所で、労働力確保対策について情報交換しました。離農者の増加に伴い農業が縮小化傾向にあるが、現在はまだまだおもだった取り組みをしていないため、市として農業の充実を模索しているところとのことで、上村一郎市長が直々に出席され「アグリケーション事業」に深く興味を示されていました。東かがわ市のブロッコリー作付面積は当JAとほぼ同程度で、石狩市農業とイメージのしやすい情報交換会になりました。



東かがわ市

東かがわ市
上村 一郎市長



地域の現状

新規就農者が少なく、遊休農地が増えているが、農家一戸あたりの農業規模が小さく農業所得も低い。労働力は家族内で済ませていて、新たな人材を雇うほどの体力がない。

今後の展望

今回の提案を受け、東かがわ市として事業化を図りたいが、現状を踏まえると農業での展開は難しい。しかし伝統産業の醤油工場でも人材不足なので、人材を融通してもらえるとありがたい。

東かがわ市の主な取組

- ◆JA香川県無料職業紹介所「アグリワーク」
- ◆JA香川県インターン制度（1年間）



11月7日、出張高校生レストランin石狩2021を開催しました。昨年引き続き2回目の開催で、事前に石狩産米のPRと販売促進をテーマに米がメインのメニュー開発を道内で唯一の食物調理単科高校である三笠高校に依頼しました。三笠市で高校生レストラン「まごころきっちゃん」を運営する同校調理部と市内の藤女子大学との高大連携のイベントで、コロナウイルス感染拡大防止のため今回は完全テイクアウト式で実施しました。石狩産の米と野菜はもちろん、ジビエも使用した「石狩の恵みエゾ鹿キーマカレーBOX」を1食1,000円、250食限定で販売し、多くの



お客さまから「1年待ってたよ」「どうしても食べたくて遠くから来ました」などたくさんのお声をいただきながら好評のうちに完売しました。三笠高校をはじめ、石狩市、藤女子大学他関係機関の皆さま、たくさんのご協力をいただきました。【記事担当…千田】

三笠高校生の感想



今回の出張レストランを通して、生産者さんの元へ行く機会をいただけたことで改めて生産者さんの苦労や大変さを知ることができました。それをどう料理に生かすか、どのような形で生産者さんへの感謝の気持ちを伝えるかを考え、とても大変でした。

今回のキーマカレーはエゾ鹿肉を使用しました。現在、エゾ鹿はとても増えており、その分廃棄量も増えていますが、おいしさを知ってもらいたくメニューを考えました。皆さんの鹿肉へのイメージが少しでも変われば良いと思います。

また、昨年のイベントは2日間でしたが今年は1日開催だったので、1日でも多くの食数を仕上げるのが大変でしたがとても良い経験になりました。また来年も参加、開催できたら良いなと思っています。

三笠高校調理部「まごころきっちゃん」とは

北海道三笠高等学校は、道内の公立高校で唯一の食物調理単科校。本物のプロを目指す調理部の生徒が調理、接客、コスト管理などを実践的に学び運営し、手間暇かけた料理を提供するレストランの「まごころきっちゃん」は、高校生らしい元気で爽やかな接客とおもてなしが人気。一般客も訪れることが出来るので遠方からの来店客が後を絶たない。建物内には製菓部が運営するカフェ・洋菓子店等を併設している。営業日等はホームページでご確認ください。

HPIはこちら



<https://mikasa-highschool-restaurant.com/>



目次

JAいしかり 1月号
Vol.389

1 表紙

2 年頭挨拶

3
4 特別対談企画
5 新春への夢を語る

6 北海学園大生が
7 石狩市農業に触れる



8 農業人材確保
産地間での連携へ!!

9 道外視察レポート



10 出張高校生レストラン
in石狩 2021



11 Information
目次/各種情報/理事会だより

12 みんなでお米を食べましょう
(石狩産米 取扱・提供店紹介)

とれのさと情報

【1月4日から営業時間が変更になりました】
◆3月下旬まで:10時~15時

新春セール

期間:1月6日(木)~1月10日(月・祝)
~新年のお買い物もとれのさとへ~

とれのさと
HPは
こちら



バレンタインフェア

期間:2月11日(金・祝)~2月14日(月)
~お世話になった方や大好きな方への
贈り物に...フェア限定商品も~



ホワイトデーフェア

期間:3月12日(土)~3月14日(月)
~バレンタインのお返しや自分への
ご褒美に...フェア限定商品も~



営農課情報

営農サポート作業受託

期間:随時
内容:組合員の要望に応じて機械等
による防除、収穫作業等を行います。
詳細については 営農課(0133)66-3344までご相談ください



各種申請・相談等

◆免税軽油申請 ◆営農計画
◆農業所得申告相談 ◆不動産所得申告相談 等
上記の日程は 差込チラシ をご確認ください

各種情報は変更になる場合が
ございますので予めご了承ください

理事会だより

第10回 定例理事会 ~令和3年11月18日~

決議事項

- 令和3年度 災害(干魃)・米価下落に伴う支援方策について
- 組合員の出資口数の減少の承認について
- 労働保険事務組合事務処理規程の一部改正について

報告事項

- 米麦乾燥調製施設建設委員会報告について
- 農産物出荷状況等について
- 余裕金運用状況について

- 組合員異動状況について
- コンプライアンス報告について
- 定期監査の実施について
- 年末手当の支給について
- 職員の採用について
- 「JAグループ北海道不祥事ゼロ運動」に係る
自主点検の取組報告について
- 水田直接支払交付金について
- 事業取扱高及び事業の実施状況等について
- 今後の行事予定について

協議事項

- JA経営基盤強化について



01

石狩市民図書館でも
石狩産米を
購入できます!!



石狩市民図書館 喫茶コーナー

住所 石狩市花川北7条1丁目
 電話番号 0133-72-3294
 営業時間 10:00~15:00
 定休日 図書館休館日(毎週月曜・国民の祝日の翌日・特別図書整理期間(年4日)・年末年始等※祝日が土曜日にあたる場合は開館し、翌火曜日が休館)

02

茨戸ガーデン



[ジャンル]
焼肉

住所 石狩市生振39-2 ▼HPはこちら
 電話番号 0133-64-1955
 営業時間 11:00~22:00(L.O. 21:30)
 定休日 年末年始 <https://www.hills1916.jp/>



03

酒庵 升屋



[ジャンル]
居酒屋

住所 石狩市花川北7条1丁目10-1大福ビル B1F
 電話番号 0133-75-1188
 営業時間 17:00~22:00(L.O. 21:30)
 定休日 日曜日・月曜日・祝日

04

カレー一家



[ジャンル]
カレー

住所 石狩市花川北7条3丁目4
 電話番号 0133-75-8600
 営業時間 11:30~20:30
 定休日 火曜日

05

呑み食い処 にし



[ジャンル]
居酒屋

住所 石狩市花川南6条2丁目245
 電話番号 0133-73-9270
 営業時間 11:00~14:00/17:00~22:00(L.O.21:30)
 定休日 不定休

06

おいし亭



[ジャンル]
しゃぶしゃぶ・
かに専門店

住所 札幌市北区北33条西12丁目4-15
 電話番号 011-214-1866
 営業時間 17:00~22:00(L.O.21:30)
 定休日 水曜日

07

Tokijiro(時次郎)



[ジャンル]
居酒屋

住所 札幌市西区琴似1条7-3-7
 電話番号 011-618-7080
 営業時間 18:00~翌3:00
 定休日 水曜日

とれのさとにキッチンカーで
土日祝に出没しています。